

令和3年度事業報告

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

1. 新規・重点事業

(1) 地域課題の解決力強化の推進

○ 住民福祉活動の拠点支援の強化

ボランティアの交流や世代間交流、生きがづくりなどに活用できる常設型の屋外拠点への支援をしました。併せて、住民主体の地域福祉活動の常設拠点への家賃補助を行いました。

- ・常設拠点 みんなの農園（毎週水曜日の活動）
80回活動（メンバー 20名）
体験の場の提供（地域親子教室、障害児家族会等）
計6回（延べ84名の参加）
農園会議 7回開催
- ・家賃補助 3団体 720,000円

○ ボランティアによる移動支援

移送ボランティアによる地域拠点（生活支援体制整備事業による拠点）や買い物などの外出支援などのために本会車両を活用した福祉運行を行いました。

- ・117回運行（延べ349名利用）

○ 引きこもり者への居場所支援

引きこもりがちな人への居場所と役割の創出支援を行いました。

- ・24回開催（延べ46名の参加）

○ コミュニティ・ソーシャル・ワーカーの配置

(2) 生活支援体制整備事業の推進

○ 第2層協議体の運営及び更なる推進のための支援

社協支部10のエリアにおいて、立ち上がった第2層協議体や拠点の継続や、支え合いの仕組みを創出するための支援や、活動の拡大を住民と共に行いました。

- | | |
|-------------------|--------------|
| 第2層協議体：7か所 | ・入間川茶べり場 |
| ・おたがいさま♡ふじみ | ・いりそ支え合いたち |
| ・奥富地区支え合いネットワーク会議 | ・柏原「きのえね坂の家」 |
| ・まちの縁側推進プロジェクト水富 | ・みま～も狭山台 |

※ 感染症対策をした上での居場所の提供、有償での生活支援サービス、買い物支援等を行う協議体がありました。

第2層情報交換会

《日 程》7月9日

《会 場》オンライン（ZOOM）

《参 加》7地区

○ 小地域福祉活動の人材育成

「ちょこっと見守りサポーター」の登録を増やし、地域のニーズに合った人材養成講座や市民フォーラムや講演会を開催し、生活支援の担い手とリーダーを養成しました。また、次世代を担う高校生の活動を支援しました。

・ちょこっと見守りサポーター新規登録人数 19名

・高校生Yumeプロジェクト

《開催回数》全体会 4回、プロジェクトごと 計26回

《参加者数》延べ399名

○ 第1層協議体の運営

第1層協議体の運営を行い、第1層分科会等を活用した支え合いを生み出す仕組みを整備しました。

・第1層協議体定例会 6回開催（オンライン会議を含む）

・有償福祉サービス団体連絡会 1回開催

・コミュニティサロン分科会 1回開催（オンライン開催）

・地域福祉フォーラム 3回開催（オンライン開催）

第1回（5月12日）参加者：78名

「いよいよコロナワクチン接種直前座談会」

第2回（11月19日）参加者：42名

「出会った人とつながろう！」

第3回（2月9日）参加者：82名

「コロナ禍3年目の今、大切なこと」

○ 小地域福祉に係る社会資源の把握と開発

コロナ禍での住民主体の活動状況の把握とサポートを行いました。地域ケア会議や市の評価会議において情報共有とコロナ禍での地域課題を抽出し、その対応に取り組みました。

「地域資源管理サービスサイト」のデータベースを公開し、各地域包括支援センター及び居宅介護支援事業と、地域の住民主体の社会資源についての最新情報を共有し、活用しました。

- ・社会資源一覧 新規作成なし
- ・Ayamu サービス情報数 247件（新着情報発信 6件）

○ 生活支援コーディネーターニュースの発行 2回発行（計12,500部）

(3) CSW（コミュニティ・ソーシャル・ワーカー）の配置

○ CSW（コミュニティ・ソーシャル・ワーカー）の配置

支部社会福祉協議会担当職員11名をCSWとして兼務して配置し、出張相談を含めて191件の相談に対応しました。

○ 出張相談会の開催 34回開催（相談件数 18件）

老人福祉センター3館での「福祉何でも相談会」を各館で月1回開催しました。また、老人福祉センター以外でも相談に対応しました。さらに、10月から水富地区をモデル地区に公民館との共催で「暮らしのお悩み何でも相談会」として出張相談会を開催しました。

- ・福祉何でも相談会 24回開催（延べ13件）
- ・暮らしのお悩み何でも相談会 10回開催（延べ5件）

(4) コロナ禍での生活困窮者への支援の実施

○ 生活福祉資金（特例貸付）等の実施

コロナ禍で収入減少のあった世帯に対し、埼玉県社会福祉協議会から受託している生活福祉資金（生活費）の貸付を行いました。

貸付決定件数及び貸付決定金額（総計）

2,250件 990,070,000円

【内訳】

- ・特例緊急小口資金
588件 113,070,000円
- ・特例総合支援資金
623件 329,200,000円
- ・特例総合支援資金（延長貸付）
156件 81,260,000円
- ・特例総合支援資金（再貸付）
883件 466,540,000円

- 住居確保給付金の受付
狭山市から受託をしている生活困窮者自立支援事業について、コロナ禍で収入減少のあった世帯への家賃支援と就労支援を行う住居確保給付金の受付を行いました。
支給決定件数 219件

- 高齢者へのコロナワクチン接種予約支援
高齢者への新型コロナウイルス感染症のワクチン接種（1・2・3回目）について、予約支援を行いました。
1・2回目
《期 間》 5月10日～7月13日
《支援件数》 180件
3回目
《期 間》 1月12日～3月31日
《支援件数》 640件

- 生理用品の配布「クローバープロジェクト」
様々な事情により、生理用品を入手することができない等の悩みを抱えている方を支援するため、窓口等での生理用品の配布を行いました。
《配布数》 262セット

- フードパントリー
コロナ禍で生活に困っている世帯に対して食糧支援を行いました。
《開催日》 4月4日
《会 場》 社会福祉会館
《参加者数》 43世帯

- フードバンク等支援事業
コロナ禍で生活困窮者への食糧支援を行うフードバンク、フードパントリーへ助成金を交付しました。
・5団体 440,000円

- 埼玉県下一斉フードドライブキャンペーンへの参加
埼玉県の呼びかけに応え、管理施設2か所でフードドライブを実施しました。
《期 間》 10月～11月（※キャンペーン後も、本会の独自事業として継続中）
《会 場》 社会福祉会館、狭山市駅東口事務所
《数 量》 69.3kg

○ 食の応援プロジェクト

コロナ禍で生活に困窮している家庭や、ひとり親家庭等への食糧支援を行いました。

《実施回数》 1回

《配付数》 89セット

○ メッセージカードによる安否確認「散歩 de ポスティング」

まん延防止等重点措置発令期間中に独居高齢者宅等にボランティアがメッセージカードを投函しました。

《期 間》 2月1日～3月21日

《配付枚数》 5,500枚

(5) 狭山市地域福祉活動計画の推進

令和3年度からの5か年計画である第4期狭山市地域福祉活動計画に基づき、地域福祉活動推進会議を設置するほか、地域福祉活動計画での基本目標を総合的に後押しする4つの「さやまプロジェクト」を実現するためのプロジェクトチームをつくるなど、地域福祉の推進に努めました。

・地域福祉活動推進会議 4回開催（オンライン会議を含む）

・さやまプロジェクト プロジェクトチームの編成

さやまプロジェクト1 打ち合わせ3回

テーマ：「つながり」のバリエーションを増やそう～「つながり」づくりの推進～

さやまプロジェクト2 打ち合わせ2回

テーマ：みんなの居場所を増やそう～「ホッ」とする場所をつくる～

さやまプロジェクト3 打ち合わせ1回

テーマ：新たな「ふくし」人材と知り合おう～広がれ「ふくし」の輪～

さやまプロジェクト4 打ち合わせ2回

テーマ：福祉圏域における地域福祉のプラットフォームづくりを進めよう

～「ふくし」で地域づくり～

(6) 狭山市社会福祉協議会発展・強化計画の策定

第1期狭山市社会福祉協議会発展・強化計画の策定を行いました。

・検討職員会議 3回

・職員意見交換会 2回

(7) 成年後見制度利用促進に関する中核機関の設置

成年後見制度の利用促進に関する中核機関として「さやま成年後見センター」を位置づけ、①普及啓発、②相談、③後見人支援を行い、判断能力の有無に関わらない地域づくりを推進しました。

○ 支援者向け研修会

- ・第1回（6月8日） 参加者：52名
「高齢者のお金の管理に使える制度と仕組み」
- ・第2回（2月14日） 参加者：25名
「福祉関係者が知っておきたい「親なきあと」への備えについて」

○ 普及啓発

- ・市報8月号、議会だより212号の一般質問要旨にて周知
- ・成年後見制度利用ガイド 2,000部作成
- ・私の老後の生き方・暮らし方ノート 250部増刷
- ・成年後見制度・あんしんサポートねっとや関連諸制度の役割分担検討シート作成

○ 相談支援

- ・相談支援 405件（会議を含む）
- ・申立支援 10件
- ・権利擁護法律相談 12回開催（延べ35件）

《相談実績》

| 相談事項 | 取扱件数 |
|---------|------|
| 成年後見制度 | 5件 |
| 遺言・相続 | 11件 |
| 虐待・権利侵害 | 1件 |
| 金銭トラブル | 5件 |
| その他 | 13件 |
| 合計 | 35件 |

○ 後見人支援 35件

「後見、狭山の会」共催 準備会を含め3回延べ47名の参加

○ 成年後見制度利用促進協議会

- ・県協議会 1回参加
- ・地区協議会 1回参加

(8) 社協活動の理解の促進及び機能強化

○ 社協活動の理解の促進

社協活動を PR するための、ユニフォーム・ジャンパーを作成しました。また、社協ホームページ、公式 Facebook ページを随時更新し、情報発信に努めました。

さらに、必要な情報にアクセスしやすく、スマートフォンでの表示にも対応できるよう、現行ホームページのリニューアルを行いました。

YouTube「狭山市社会福祉協議会チャンネル」を活用し、外出自粛期間でも楽しめてフレイル予防になるような動画をボランティアの協力で作成し、配信をするほか、講演会、地域福祉フォーラムなどの映像も公開しました。

○ 登録者への自動メール配信及びLINE活用による情報発信

アドレス登録のある人に対し、イベント周知やボランティア募集など、多様な情報を自動メール配信にてタイムリーに届けました。また、LINE活用による情報発信について、実現に向けて情報収集を行っています。

- ・メール配信件数 延べ1,865件（配信回数 13回）

○ 災害時の対策の充実

災害時の施設の電源確保として発電機を購入し、狭山市駅東口事務所に配備しました。

2. 会の運営

(1) 理事会 6回開催

第1回理事会 6月10日

議案第 1号 令和2年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会第3次補正予算（案）
について

議案第 2号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会評議員選任規程の一部改正
について

議案第 3号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会育児休業・介護休業等に関する
規程の一部改正について

議案第 4号 令和2年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会事業報告について

議案第 5号 令和2年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会決算認定について

議案第 6号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会評議員選任・解任委員候補者
（案）について

議案第 7号 令和3年度第1回評議員選任・解任委員会の開催について

議案第 8号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会評議員候補者（案）について

議案第 9号 令和3年度定時評議員会の開催について

議案第10号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会役員候補者（案）について

第2回理事会 7月2日

- 議案第11号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会会長の選定について
- 議案第12号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会副会長の選定について
- 議案第13号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会常務理事の選定について

第3回理事会 10月26日

- 議案第14号 令和3年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会第1次補正予算(案)について
- 議案第15号 令和3年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会顕彰対象者(案)について
- 議案第16号 第1期狭山市社会福祉協議会発展・強化計画の策定方針について
- 議案第17号 特定相談支援事業、障害児相談支援事業縮小及び廃止について
- 議案第18号 令和3年度第2回評議員会について

第4回理事会(書面会議)

- 議案第19号 特定相談支援事業、障害児相談支援事業の事業譲渡について

第5回理事会(書面会議)

- 議案第20号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会給与規程の一部改正について
- 議案第21号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会非常勤職員・嘱託職員・期間契約職員規程の一部改正について

第6回理事会(書面会議)

- 議案第22号 令和3年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会第2次補正予算(案)について
- 議案第23号 役員等賠償責任保険の契約について
- 議案第24号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会定款の一部改正について
- 議案第25号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について
- 議案第26号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規程の一部改正について
- 議案第27号 第1期狭山市社会福祉協議会発展・強化計画の策定について
- 議案第28号 令和4年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会事業計画(案)について
- 議案第29号 令和4年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会予算(案)について
- 議案第30号 令和3年度第3回評議員会の開催について

(2) 監査会 2回開催

第1回監査会 5月31日

議案 令和2年度会計決算監査について

第2回監査会 11月11日

議案 令和3年度中間監査について

(3) 評議員会 3回開催

定時評議員会（書面会議）

議案第 1号 令和2年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会第3次補正予算（案）
について

議案第 2号 令和2年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会事業報告について

議案第 3号 令和2年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会決算認定について

議案第 4号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会役員の選任について

第2回評議員会（書面会議）

議案第 5号 令和3年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会第1次補正予算（案）
について

議案第 6号 第1期狭山市社会福祉協議会発展・強化計画の策定方針について

第3回評議員会 3月24日

議案第 7号 令和2年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会第2次補正予算（案）
について

議案第 8号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会定款の一部改正について

議案第 9号 第1期狭山市社会福祉協議会発展・強化計画の策定について

議案第10号 令和4年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会事業計画（案）
について

議案第11号 令和4年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会予算（案）について

(4) 正副支部長会議 2回開催

第1回支部長会議 7月30日

1. 第4期地域福祉活動計画について

2. 令和3年度支部活動費及び在宅福祉サービス定額交付金について

3. 新型コロナウイルス感染症の影響下での市社会福祉協議会の活動について

4. 新型コロナウイルス感染症の影響下での支部社会福祉協議会の活動について

第2回支部長会議 3月29日

1. 令和4年度事業計画について
2. 第1期狭山市社会福祉協議会発展・強化計画について
3. 令和4年度支部活動費（見込み）について
4. ボランティア活動保険等について
5. 令和4年度支部総会について
6. 支部社会福祉協議会の活動（令和3年度振り返り、令和4年度予定）について

3. 委員会の運営

- | | |
|----------------------|------------------|
| (1) 評議員選任・解任委員会 | 1回開催 |
| (2) 広報委員会 | 開催せず |
| (3) 在宅福祉サービス推進委員会 | 開催せず |
| (4) 助成金交付事業審査委員会 | 1回開催 |
| (5) 手話通訳者派遣事業運営委員会 | 2回開催 |
| (6) 援護資金貸付審査委員会 | 開催せず |
| (7) ボランティアセンター運営委員会 | 2回開催 |
| (8) ささえあい狭山運営委員会 | 2回開催 |
| (9) さやま成年後見センター運営委員会 | 4回開催（オンライン会議を含む） |

4. 財源の確保

- (1) 社協会員の加入促進 8,673件 6,301,500円
○既存会員の会費納入及び新規会員の加入募集

- (2) ささえあい狭山会員の加入促進 304件 566,000円
※ 令和2年度より活動状況に応じ、提供会員へは年会費の半額を返金しています。

- (3) 社会福祉活動基金の運用
国債等で運用を図りました。
受取利息配当金収入 2,800,000円

- (4) 赤い羽根共同募金 6,636,304円
○埼玉県共同募金会狭山市支会に協力

(5) 地域歳末たすけあい募金 4,767,726円

○埼玉県共同募金会狭山市支会に協力

(6) 社協だより「ふれあい」へ広告掲載

有料広告の掲載 1団体(4回掲載)

(7) 寄付金

寄付金収入 18,714,663円

5. 事務局体制・機能の強化

業務運営会議、職員任用委員会、勤務評定を実施するとともに、オンライン研修への積極的な参加を図り、人材育成・交流・適正配置に努めました。

(1) 研修 121回

埼玉県社会福祉協議会、全国社会福祉協議会等による研修に積極的に参加することで、本会職員としてのスキルアップを図りました。

○ 参加した主な研修

人事労務管理研修、市町村社協地域福祉推進担当課長会議、会計研修、生活支援コーディネーター課題別研修、意思決定支援研修 など

(2) 内部研修 3回 計37名参加

(3) 事務局機能の強化

新型コロナウイルス感染症予防のため、在宅勤務を実施し柔軟な対応を行いました。

(4) 人事考課の実施 2回実施

(5) 職員の自己申告制度の実施 12月実施

(6) 事務事業評価の活用

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、事業内容の休廃止を含めた見直しを行いました。

6. 調査研究

(1) 遺贈寄付にかかる調査研究

地域で暮らした人が、最後に地域のためにお金を使う、人生最後の社会貢献である遺贈寄付についての相談を受けました。

・相談 3件

・遺贈寄付の受入 2件 17,206,595円

7. 連絡調整

関係機関との連携の充実・強化を図りました。

- (1) 狭山市自治会連合会・狭山市民生委員児童委員協議会・行政との連携
会員会費、共同募金（赤い羽根共同募金・地域歳末たすけあい募金）の協力を依頼し、実施しました。
また、民生委員・児童委員協議会の活動に対する補助金を交付し、地域福祉活動の支援を行いました。
- (2) 狭山市自立支援協議会への参加
狭山市自立支援協議会の実務者会議に参加し、障害者福祉サービスに関する関係機関・事業所との連携を図り、障害者福祉サービスの質の向上に努めました。
- (3) 入間川・入間川東地区、入曽地区、水野地区、富士見・中央地区、狭山台地区、堀兼・奥富・新狭山地区、柏原・水富地区地域包括支援センター主催による日常生活圏域会議への参加をしました。
- (4) 協働推進委員会、青少年を育てる市民会議、障害者福祉プラン懇談会、障害者差別解消支援地域協議会、子育て支援ネットワーク会議など狭山市の主催する会議への参加をしました。
- (5) 社会福祉法人連絡会に関する意見交換会等の開催
社会福祉法人連絡会勉強会の開催を企画しましたが、まん延防止等重点措置の期間内ということもあり、中止しました。

8. 普及宣伝

- (1) 広報委員会 委員会の見直しのため、開催せず
- (2) 社協だより「ふれあい」の発行
年4回（4月・7月・10月・1月）発行 各回55,900部
- (3) 諸事業の広報用印刷物発行
- (4) ホームページの更新 118回（アクセス数 36,918件）
- (5) ガイドブック 1,000部作成
- (6) YouTube の更新（チャンネル登録数 176名）
総再生回数 1,956回
- (7) Facebook の更新 69回（ページフォロワー数 476件）

9. 支部社協への支援

- (1) 支部長会議を通して市社協と支部社協の連携
- (2) 支部社協の諸事業に協力・援助（活動費交付等）
- (3) 支部社協在宅福祉サービス推進事業に協力・援助・支部活動に関連する情報提供
- (4) 生活支援体制整備事業等を通してのコミュニティづくりの推進のための連携

10. 在宅福祉サービスの推進

- (1) 市社協における推進
 - 在宅福祉サービス推進委員会 委員会の見直し中のため、開催せず
 - 研修会（衛生講習会） 新型コロナウイルス感染症の影響で保健所との調整ができなかったために開催せず
- (2) 支部社協における推進
 - 支部在宅福祉サービス推進委員会
 - 孤立予防・安否確認のための友愛訪問の実施、支部だよりの発行
- (3) 見守り事業【再掲】
 - ちょこっと見守りサポーター新規登録人数 19名

11. 福祉教育

(1) 福祉体験教室の実施

車椅子・ガイドヘルプ・高齢者擬似体験・障害者等の講話・昔遊び体験、点字体験の指導や小学生・中学生向けの認知症サポーター養成講座（キッズ講座）、あいサポート出前講座を小学校・中学校等で実施しました。

《件数》 15件

（小学校 15件、中学校 0件、高校・一般企業 0件）

《対象者数》 1,188名

(2) 福祉教育サポーター養成講座

8月に「寄付の教室」を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言下のために中止しました。

1 2. 高齢者福祉

(1) 福祉機器の貸出

介護保険認定者以外で、福祉機器等（車椅子、歩行器、シャワーチェア等）の必要な方へ原則3か月を期限に貸出しを行いました。

- ・車いす 68件
- ・その他 4件

1 3. 障害者福祉

(1) 障害者団体等への協力援助 7件 624,500円

障害者団体の活動や事業に対する助成を行いました。

(2) 助成金交付事業審査委員会 1回

6月21日 1. 委員長・副委員長の選任について

2. 令和3年度さやま福祉活動応援助成金の審査について
(申請 7団体)

(3) 全身性障害者通学等介護人派遣事業（市からの受託事業）

高校・大学へ通う全身性障害者の方を対象とし、全般的な介助を行うため、介護人を派遣しました。

《対象者》 1名

《派遣時間》 240時間

(4) 手話通訳者派遣事業（市からの受託事業）

聴覚障害者の方を対象に、社会参加の促進を図るため、手話通訳者を派遣しました。

《派遣件数》 601件

《派遣人数》 659名

○ 手話通訳者派遣事業運営委員会（2回）

7月 1日 1. 委員長の選任について

2. 令和2年度狭山市手話通訳者派遣事業報告について

3. 手話通訳者派遣事業運営委員研修会

講演「聴覚障害者に関する基礎知識など」

講師 運営委員（聴覚障害者の会）

2月24日 1. 令和4年度狭山市手話通訳者派遣事業計画について

- 登録手話通訳者研修会
 - 《回数》 3回
 - 《参加者》 延べ14名
- 手話通訳者派遣事務所だより『手輪』
 - 年4回（6月・8月・11月・2月）発行 延べ4, 177部
- 頸肩腕症候群健診の受診
 - 《回数》 1回
 - 《参加者》 6名
- 聴覚障害者の集い（独自事業）
 - 新型コロナウイルス感染症の影響で実施することができませんでした。

(5) ハンディキャブの運行

障害により外出が困難な人が積極的に社会参加できるよう、移送サービス等を行いました。

- ハンディキャブの運行（市からの受託事業）※貸し出しは休止中
 - 車椅子を利用している方を対象にハンディキャブを運行しました。
 - 運行：《利用者数》 35名
 - 《利用件数》 延べ716件
- その他、独自事業 福祉車両（ノア）貸し出し
 - 車椅子を利用している方を対象に、福祉車両（ノア）を貸し出しました。
 - 《利用件数》 延べ31件

(6) 居宅介護事業（ホームヘルパーの派遣）

- 居宅介護
 - 《利用件数》 延べ 3, 157件
 - 《利用時間》 3, 096時間
- 移動支援
 - 《利用件数》 延べ 268件
 - 《利用時間》 343時間
- 同行援護
 - 《利用件数》 延べ 252件
 - 《利用時間》 580時間
- 通院介助
 - 《利用件数》 延べ 61件
 - 《利用時間》 217時間

(7) 指定特定相談支援事業

- 障害児者相談利用者数 19名
 - ※ 令和3年12月末日で事業を廃止し、令和4年1月1日に事業譲渡を行いました。

《会 場》 社会福祉会館 大会議室ほか（オンラインを含む）

《参加者数》 延べ48名

- ふぁみさぼだよりの発行

年4回（5月・8月・10月・12月）発行 延べ3,830部

(3) 産前・産後ヘルパー派遣事業（市からの受託事業）

妊娠中または、出産直後の方が、安心して子育てができるように、産前・産後ヘルパーが家庭を訪問し、家事のお手伝い、育児相談を実施しました。

- 需給調整等

《利用者》 延べ11名

《派遣回数》 38回

《派遣時間》 84.5時間

- 産前・産後ヘルパー研修会

《回 数》 1回

《参加者》 5名

- マタニティースクール

《参加者》 5名

(4) 狭山市養育支援訪問事業（市からの受託事業）

保護者の養育を必要とされる児童のために、その養育が適切に行なわれるよう、当該要支援児童等の居宅において、養育に関する相談、指導、助言や家事の援助を行いました。

《利用件数》 66件

《利用時間》 110時間

(5) 子ども食堂への支援

子ども食堂を安定的に運営するための支援として、立ち上げ年数の若い団体への運営支援金や、子ども食堂のために使ってほしいということで受け入れた寄付金について、希望団体への配分を行いました。

また、子ども食堂に関する普及啓発や運営相談を実施しました。

- 子ども食堂運営支援金 4団体 360,000円

- 子ども食堂寄付配分金 5団体 205,000円

- 子ども食堂マップの作成、配布 1,000部

- 子ども食堂のネットワークとの連携

- 子ども食堂に関する運営相談

15. 介護保険事業

(1) 訪問介護

介護保険制度の指定居宅サービス事業所として、訪問介護員を派遣する業務を行いました。

○ 要介護

《利用件数》 延べ 2, 522件

《利用時間》 2, 450時間

○ 予防介護 実績なし

(2) 狭山台地域包括支援センターの運営（市からの受託事業）

《相談件数》電話 本人573件 家族907件 その他1, 530件

来所 本人139件 家族203件 その他62件

訪問 本人487件 家族169件 その他169件

時間外電話 74件

時間外訪問 38件

《介護予防ケアプラン件数》直営 616件

委託 284件

委託先 144件

《自立支援地域ケア会議》 4回

《自立支援評価会議》 3回

《日常生活圏域会議》 6回

《その他》

・ 出前講座 45回（参加者 延べ449名）

・ ミニ講座 18回（参加者 延べ223名）

・ ファイブコグ検査 1回

・ ボランティア育成 5回

・ 地域住民団体交流 13件

・ ケアマネ相談 78件

16. 歳末たすけあい配分事業

(1) 生活困窮者緊急用生活費給付事業 18件 180, 000円

生活困窮者自立支援事業の相談の中で既存の制度の狭間にある課題のため、生活困窮状態からの脱却を目指していても生活再建の道筋を立てられない方に対して、緊急用の生活費を給付することで、生活再建の道筋を立てました。

(2) 高校進学支援金給付事業 8校24名 1,200,000円

修学の意欲が旺盛で、高校等の進学が決定したものの、家庭の経済的困窮等により、入学準備が十分にできない恐れのある市内公立中学校に通う中学3年生のうち、学校長からの推薦を得られる生徒に対して、給付型の奨学金を交付しました。

※ 新型コロナウイルス感染症の影響による経済状況を考慮し、寄付金を合わせることで1件あたりの給付金額を増加させました。

(3) フードバンク等支援事業【再掲】

新型コロナウイルス感染症の影響で生活困窮状態となった世帯を支援するフードバンクやフードパントリーが年末年始に行う活動に対する支援を行いました。

《助成団体》 5団体

《助成金額》 440,000円

17. 法外援護

公的保護に該当しないケースに対する援護を行いました。

交通費の援助 5件 2,500円

18. 災害援護

災害にあった世帯への見舞金の支給を行いました。

見舞金の支給 4件 80,000円

19. 援護資金の貸付

低所得世帯に対し、経済的自立を助長し、生活の安定を図るため、援護資金の貸付を行いました。

(1) 援護資金貸付審査委員会 開催を要する案件がなかったため開催せず

(2) 相談件数 26件

(3) 貸付件数 25件 440,000円

20. 生活援護資金の貸付

一時的な生活上の資金を必要とする世帯に対して、生活の安定と生活意欲の助長を図るため、生活援護資金の貸付を行いました。

(1) 相談件数 (援護資金の相談件数と重複)

(2) 貸付件数 29件 145,000円

2 1. 生活福祉資金の貸付取扱い（埼玉県社会福祉協議会からの受託事業）

低所得世帯、障害者世帯並びに高齢者世帯に対し、経済的自立及び生活意欲の助長促進のため、生活福祉資金の貸付を取り扱いました。

- (1) 相談件数 2, 505件
(2) 貸付決定件数 2, 256件 990, 650, 000円

【貸付決定件数の内訳】

- ・緊急小口資金 5件
- ・福祉資金 1件
- ・教育支援資金 0件
- ・特例緊急小口資金 588件
- ・特例総合支援資金 623件
- ・特例総合支援資金（延長） 156件
- ・特例総合支援資金（再貸付） 883件

2 2. 心配ごと相談所

住民のかかえる生活上の悩みごと、困りごとの解決に取り組むため、弁護士による法律関係の相談を行いました。

- (1) 開設日
毎月第3金曜日（※新型コロナウイルスの影響により、8月のみ中止。）
- (2) 相談員
弁護士 1名
- (3) 相談実績

| 相談事項 | 取扱件数 |
|-------|------|
| 家族 | 4件 |
| 財産 | 14件 |
| 住宅 | 2件 |
| 人権・法律 | 2件 |
| その他 | 5件 |
| 合計 | 27件 |

2 3. 福祉サービス利用援助事業（埼玉県社会福祉協議会からの受託事業）

判断能力が不十分な方を対象に福祉サービスの利用援助や日常金銭管理サービス及び書類等の預かりサービスを行うことにより、地域で安心して生活を送ることができるよう支援しました。

- 《契約件数》 29件（新規7件、解約5件）
《生活支援員活動回数》 401回
《相談件数》 856件
《生活支援員等への研修》 3回 延べ24名

24. 法人成年後見事業（市からの一部受託事業）

「さやま成年後見センター」において、成年後見制度の普及啓発、法人後見の受任、権利擁護に関する総合相談や成年後見制度の申立て支援を実施し、認知症高齢者や知的障害者・精神障害者が地域で安心して生活を送ることができるよう支援をしました。

(1) 受任件数・活動回数

| | |
|-------------|--|
| 《受任件数》 | 7件（後見類型4件、保佐類型2件、補助類型1件） （累計受任件数 18件） |
| 《後見支援員活動回数》 | 91回 |

(2) さやま成年後見センター運営委員会（4回）

| | |
|--------|---|
| 7月 8日 | （報告事項のみ） |
| 9月24日 | 1. 成年後見の申立てについて |
| 12月21日 | （報告事項のみ） |
| 3月 4日 | 1. 令和4年度事業計画（案）について 2. 市民後見人養成講座カリキュラムについて |

(3) 後見支援員への研修 2回 延べ17名

25. 生活困窮者自立支援事業等の生活困難者への総合相談

生活困難者への総合相談として、生活困窮者自立支援事業を中心に、特に経済的困窮者に対する相談を受け付け、自立更生のための支援を行いました。

(1) 生活困窮者自立支援事業（市からの受託事業）

① 相談件数

| | |
|-----------|---------------------|
| 《新規相談》 | 834件（累計相談件数 3,984件） |
| 《プラン作成》 | 112件 |
| 《住居確保給付金》 | 219件 |
| 《自立・就労件数》 | 162件 |

② 支援調整会議

| | |
|--------|------|
| 《開催回数》 | 12回 |
| 《調整件数》 | 124件 |

③ 職員研修、職員ミーティング

| | |
|------------|----------------|
| 《職員ミーティング》 | 12回 |
| 《ケース会議》 | 毎朝のミーティングの中で対応 |

(2) 無料職業紹介所の運営

《登録求職数》 1件

《登録求人数》 4件

《紹介件数》 4件

(3) 彩の国あんしんセーフティネット事業、衣類バンク事業への協力

○彩の国あんしんセーフティネット事業

《相談件数》 3件

《支援回数》 3回

○衣類バンク事業の利用 1回

○連絡会議 1回開催

(4) 生活支援物資の受け入れと活用

《寄付受入件数》 87件

《支援件数》 242件

(5) フードバンクとの連携

フードバンクネット西埼玉、フードバンクさやまと連携をし、生活困窮者への一時的な食糧支援を実施しました。

《活用件数》 26件

(6) フードパントリーとの連携

フードドライブを実施する団体との情報交換会を実施しました。

《開催回数》 1回

(7) 連絡手段の多様化

専用メールアドレスとLINEアカウントを取得し、電話や来所が難しい相談者に対して、対応できる手段の多様化を図りました。

26. ふれあいサロンへの支援

身近な生活の場を拠点として、住民である当事者とボランティアが協働で企画し、内容を決め、共に運営していく楽しい仲間づくりの活動の相談、支援を行いました。

(1) 登録団体 45団体（新規団体 なし）

(2) 登録研修会 新規登録がなく、未開催

(3) 運営費助成 延べ24団体 216,200円

※4半期ごとの交付

(4) ふれあいサロン保険助成 45団体 延べ12,469名分

(5) サロン再開応援パックの配付

新型コロナウイルス感染症の影響により休止していた団体が再開するにあたり、ハンドソープ、使い捨て手袋、アルコール消毒液などを、感染症予防対策として再開した団体へ随時配付しました。

(6) つながり応援助成 延べ14団体 181,588円

コロナ禍においての実情やニーズに合わせた運営を支援することを目的とし、感染症対策や通常開催に代わる安否確認等にかかる経費の一部を助成しました。

27. コミュニティサロン協議会の運営

狭山市内の多機能サロン、コミュニティカフェ等のネットワーク管理と協議会の運営を行いました。

(1) 登録団体 61団体

(2) 定例会 1回

《日程》 10月12日(火)

《会場》 オンライン(ZOOM)

《内容》 ミニ講演会「人生会議について」

情報交換会「おたくのサロン、今、どうしていますか?~コロナ禍での開催~」

《参加者》 16名

※ 会場での開催を予定していましたが、コロナ感染者の増加によりZOOMの他、YouTubeで同時配信をしました。

28. 地域福祉活動団体への支援

(1) 地域福祉活動スタートアップ助成事業 3団体 470,000円

新たに設立された地域福祉活動団体への立ち上げ時の設備費用・運営費等や既存の団体が新たな活動を始める際の設備費用の助成を行いました。

(2) 地域福祉活動者研修助成事業 3名 9,000円

地域福祉活動団体のリーダーに対する研修支援として、「第14回全国校区・小地域福祉活動サミット in 北海道」(オンライン)への参加助成を行いました。

29. 人材育成

(1) 手話講習会（市からの受託事業）

手話奉仕員養成講習会（後期）（全24回）、手話通訳者養成講習会（通訳Ⅰ）（全24回）を実施しました。

《開催日》 4月～3月

《会場》 社会福祉会館（オンラインを含む）

《参加者》 手話奉仕員養成講習会（後期） 8名

手話通訳者養成講習会（通訳Ⅰ） 6名

(2) あいさポーター養成講座（市からの受託事業）

地域共生社会の実現を目的として、障害や障害者への理解を促進するための講座、講師の養成、企業・団体等の認定を行いました。

○ あいさポーター研修

《開催回数》 23回

《新規さポーター数》 775名

○ メッセージャー研修

《開催回数》 1回

《新規メッセージャー》 7名

○ キッズあいさポーター研修

《開催回数》 8回

《キッズさポーター数》 488名

○ あいサポート企業・団体の認定 2件

(3) 社会福祉実習、職場体験学習等の受け入れ

福祉人材の育成のため、社会福祉士等の実習を受け入れました。

西武文理大学看護学部 18名（2日間）

狭山市役所経由の実習生 1名（2日間）

日本女子大学 1名（26日間）

NHK学園 1名（24日間）

白梅学園大学 1名（8日間）

日本社会事業大学 1名（24日間）

(4) 傾聴ボランティア養成講座

1月から2月にかけて開催を予定していましたが、まん延防止等重点措置の発令により、中止しました。

30. 福祉出前講座

市民からの要望に応え、地域福祉活動の普及や理解を深めるため、地域福祉活動に関する出前講座を実施しました。

《講座内容等》「あいサポート講座」・「手話講座」・「終活講座」等

《回数》 11回

《参加者》 延べ435名

31. 老人福祉センターの指定管理

(1) 老人福祉センターの運営・管理

《利用状況》

| 施設 | 開所日数 | 利用件数 | 利用者数 |
|-----|------|--------------------------|---------|
| 宝 荘 | 222日 | 2,509件 (団体334件、個人2,175件) | 5,869名 |
| 寿 荘 | 222日 | 2,417件 (団体243件、個人2,174件) | 4,451名 |
| 不老荘 | 222日 | 3,149件 (団体257件、個人2,892件) | 4,850名 |
| 合 計 | 666日 | 8,075件 (団体834件、個人7,241件) | 15,170名 |

※ 新型コロナウイルス感染症の影響で休館期間がありました。感染予防のため、利用時間や利用人数に制限をし、入浴利用は引き続き中止としました。

(2) 老人福祉センター自主事業

福祉・健康・教養講座、グラウンド・ゴルフ等を開催しました。

| 施設 | 事業数 | 参加者数 |
|-----|------|--------|
| 宝 荘 | 9事業 | 1,432名 |
| 寿 荘 | 9事業 | 1,099名 |
| 不老荘 | 5事業 | 658名 |
| 合 計 | 23事業 | 3,189名 |

(3) たまり場活動事業

新型コロナウイルス感染症の影響で活動を中止しました。

(4) 健康相談事業

看護師による健康相談を行いました。

| 施設 | 回数 | 相談件数 |
|-----|------|--------|
| 宝 荘 | 37回 | 247件 |
| 寿 荘 | 37回 | 871件 |
| 不老荘 | 36回 | 684件 |
| 合 計 | 110回 | 1,802件 |

(5) 福祉何でも相談事業

コミュニティ・ソーシャル・ワーカーによる福祉何でも相談を行いました。

| 施設 | 回数 | 相談件数 |
|-----|-----|------|
| 宝 荘 | 8回 | 8件 |
| 寿 荘 | 8回 | 1件 |
| 不老荘 | 8回 | 4件 |
| 合 計 | 24回 | 13件 |

3.2. 社会福祉会館の指定管理

(1) 社会福祉会館の運営・管理

《開所日数》 330日
《利用回数》 1,249回
《利用者数》 11,327名

3.3. ボランティアセンター事業

(1) ボランティアセンター運営委員会 2回

- 6月22日 1. 令和2年度ボランティアセンター事業報告について
2. 令和3年度ボランティアセンター事業計画について
3. ボランティアセンター登録グループへの助成について
- 3月15日 1. 令和3年度狭山市ボランティアセンター事業経過報告について
2. 令和4年度狭山市ボランティアセンター事業計画について
3. 令和4年度のボランティア活動について

(2) ボランティアグループ代表者会議 1回

《開催日》 10月27日

《会場》 市民会館 第4会議室

《内容》 1. コロナ禍におけるボランティア活動について等（情報交換）
2. 令和3年度狭山市ボランティアセンター事業執行状況について

《参加者》 18団体

(3) ボランティア活動への援助

ボランティアグループ活動費助成 4グループ 395,000円

(4) ボランティア活動の需給調整

| 区分 | 件数 | 回数 | 人数 |
|----------|------|------|------|
| 障害者（児）関係 | 32件 | 92回 | 96名 |
| 高齢者関係 | 48件 | 72回 | 116名 |
| その他 | 125件 | 212回 | 328名 |
| 合計 | 205件 | 376回 | 540名 |

○登録団体 21団体（新規登録0団体）

○登録個人ボランティア 383名

○新規登録ボランティア（個人） 34名

(5) 関係機関との連携

関係機関（ボランティア連絡会・保健センター・地域包括支援センター・保健所等）との連絡調整

(6) ボランティアスクール

ボランティアの発掘、育成のため、ボランティアスクールを実施しました。

① あなたにもきっと見つかるボランティア講座

・前期

《開催日》 5月28日、6月2日～9日（体験）、6月11日

《会場》 社会福祉会館他

《内容》 基礎講座、マッチング
ボランティア体験

振り返り、活動者講話

《参加者》 5名

・後期

《開催日》 11月1日、11月6日～11月20日、11月22日

《会場》 社会福祉会館他

《内容》 基礎講座、マッチング
ボランティア体験
振り返り、活動者講話

《参加者》 6名

② 災害ボランティア養成講座

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して、中止としました。

③ 専門講座

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して、中止としました。

④ 地域共生のための仲間づくり講座「シニアのためのオンライン講座」

《開催回数》 5回

《参加者》 19名

《WEBサロン》 6回

⑤ 世代間交流事業

イベントを取り入れながら世代を超えて「ふくし」を楽しく学べる場として、世代間交流事業を実施しました。

《開催日》 11月20日

《会場》 社会福祉会館

《内容》 スポーツチャンバラ体験とキッズあいサポート講座

《参加者》 14名（子ども6名、親4名、ボランティア4名）

⑥ 傾聴ボランティアスキルアップ講座

《開催日》 11月25日

《会場》 市民会館

《内容》 講演「聴くということ」 講師 埼玉いのちの電話研修委員
実践者の体験談

参加者から講師への何でも相談会

《参加者》 16名

(7) 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して、中止としました。

(8) 彩の国ボランティア体験プログラム

ボランティア活動プログラムを提供し、ボランティア活動へ取り組む機会を提供しました。

| 日 程 | メニュー数 | 参加者数 |
|----------|-------|--------------|
| 夏：7月～8月 | 21 | 11メニュー 延べ27名 |
| 秋：9月～11月 | 17 | 2メニュー 延べ 2名 |
| 冬：12月～2月 | 16 | 6メニュー 延べ 6名 |
| 合 計 | 54 | 19メニュー 延べ35名 |

(9) 地区ボランティアセンターの設置

《開催日》 4月～3月（第1水曜日）

《会 場》 鶯ノ木団地集会所

《参加者》 9回延べ78名

《相談件数》 38件

(10) ボランティア保険の取扱い及び補助

市民の方がボランティア活動に安心して取り組めるよう、ボランティア保険加入に係る事務を行いました。

○ ボランティア保険加入取扱い件数

- ・ボランティア活動保険 2, 125件
- ・ボランティア行事用保険 233件
- ・福祉サービス総合補償 5件
- ・送迎サービス補償 1件
- ・ふれあいサロン・社協行事傷害補償 190件

(11) ボランティア通信の発行

年3回（5月・11月・1月）発行 各号800部

(12) 共学支援ボランティア養成講座

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して、中止としました。

34. 有償福祉サービス「ささえあい狭山」

(1) ささえあい狭山運営委員会 2回

- 11月18日
1. 提供会員の次年度年会費の減額（返金）について
 2. 次期 ささえあい狭山運営委員の選出について
 3. 各部会の今後の活動について
 4. ささえあい狭山 令和3年度上半期 実績等について

- 3月17日
1. 次期 ささえあい狭山運営委員の選出について
 2. 提供会員の次年度年会費の減額（返金）について
 3. 令和4年度 ささえあい狭山事業計画について
 4. 各部会の今後の活動について

※移送・交流促進・広報の各部会は、コロナ禍により休止となっています。

(2) 需給調整等

《 会 員 数 》 245名

(利用会員 204名、提供会員 36名、両方会員 5名)

《 活 動 件 数 》 4,928件

《 稼 動 人 数 》 619名

《サービス提供時間》 4,807.3時間

(3) 研修会・説明会・講座

- ・研修会 2回 延べ5名
- ・入会説明会 未開催
- ・講座 1回 15名

(4) ささえあいだよりの発行

年3回発行 延べ870部

35. 第42回社会福祉大会

本大会は、狭山市の社会福祉の発展に功績のあった方々を表彰することを目的として開催しました。

《日 程》 11月24日

《会 場》 市民交流センター コミュニティホール

《参 加 者》 33名

《内 容》 式典、写真撮影

《受賞者内訳》

○ 社会福祉協議会会長表彰

- ・役員 2名
- ・評議員 4名

○ 社会福祉協議会会長感謝

- ・多額寄付者（個人・団体）【10万円以上】 1名・3団体
- ・登録ふれあいサロン 1団体
- ・ボランティアセンター協助者（個人・団体） 4名・6団体
- ・住民参加型在宅福祉サービス協助者 9名
- ・成年後見センター協助者 該当者なし

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、一般参加者を募集せず、時間短縮により、式典と写真撮影のみ実施しました。

36. 地域わくわく事業

地域が元気になるための、地域を応援する仕組みとして、自治会で行う地域福祉活動に対して助成を行いました。

《助成数》 8地区12事業（1,000,000円）

《主な事業内容》 感染症対策用品、防災備品整備など

37. 収益事業

(1) 飲料水等販売手数料収入 234,271円

自動販売機設置場所：老人福祉センター3館（宝荘・寿荘・不老荘）
サンパーク奥富、教育センター、社会福祉会館

(2) 切手及び収入印紙の販売手数料収入 190,244円

社会福祉会館での販売のほか、市役所及び会社等へ販売しました。

(3) 埼玉県収入証紙の販売手数料収入 61,586円

社会福祉会館での販売をしました。

38. 災害支援

(1) 災害義援金 84,323円

埼玉県共同募金会狭山市支会に協力

- 令和3年7月大雨災害静岡県義援金（静岡県共同募金会） 67,686円
- 令和3年大雨災害義援金（中央共同募金会） 16,637円

39. 埼玉縣市町村社協連絡会入間第3ブロック連絡会

入間第3ブロック連絡会は、狭山市・所沢市・川越市・入間市の4市から構成され、社協相互の連携と協力のもとに、市町村社協の機能強化を目的としています。

令和3年度については、本会が幹事社協を担当し、機能強化のための研修会を企画し、運営を行いました。

《日 程》 11月26日

《会 場》 狭山市社会福祉会館 大会議室

《参加者》 15名（4社協）

《内 容》 第一部 講演「働き方改革推進のポイント～With コロナ～」

第二部 担当者意見交換会